

たまかわ

1997 ③

No.367

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



昨年(1996)に竣工した中村池(中)に
 白鳥が飛来しつづけています。
 1月10日の撮影後、その後
 2月10日と3月10日の計3回、
 羽が傷んだ雌鳥を救助しました。
 小針真、アイさん夫妻(中)
 は、1日3回ウエーブやパンク
 ずをエサとして白鳥に世話を
 しています。「白鳥の時期、
 白鳥は飛行訓練をせよ、
 そのための餌をあげることは
 できません」とアイ
 さんが話していました。

白鳥にエサを与える小針アイさん(中央)

島空港公園 補償協定調印式



調印後、握手をする藤田会長(左)、佐藤知事(中央)、榎村会長(右)

今回取得される土地は、その他の3つのエリアの用地となります。玉川村側には、「地球と科学エリア」と「フラワーアーケードエリア」の一部が整備されることとなります。平成12年度までに「地球科学エリア」内の施設の整備が進められます。「地球科学エリア」は、「人間と森のかかわり」について、「森と遊ぶ」などを生態学的な視点で体験できる「森の体験ゾーン」、恐竜をテーマとした中生代のテーマパーク「恐竜ゾーン」に分けられ、各種施設が設置されることになっています。

今回取得される土地は、その他の3つのエリアの用地となります。玉川村側には、「地球と科学エリア」と「フラワーアーケードエリア」の一部が整備されることとなります。平成12年度までに「地球科学エリア」内の施設の整備が進められます。「地球科学エリア」は、「人間と森のかかわり」について、「森と遊ぶ」などを生態学的な視点で体験できる「森の体験ゾーン」、恐竜をテーマとした中生代のテーマパーク「恐竜ゾーン」に分けられ、各種施設が設置されることになっています。

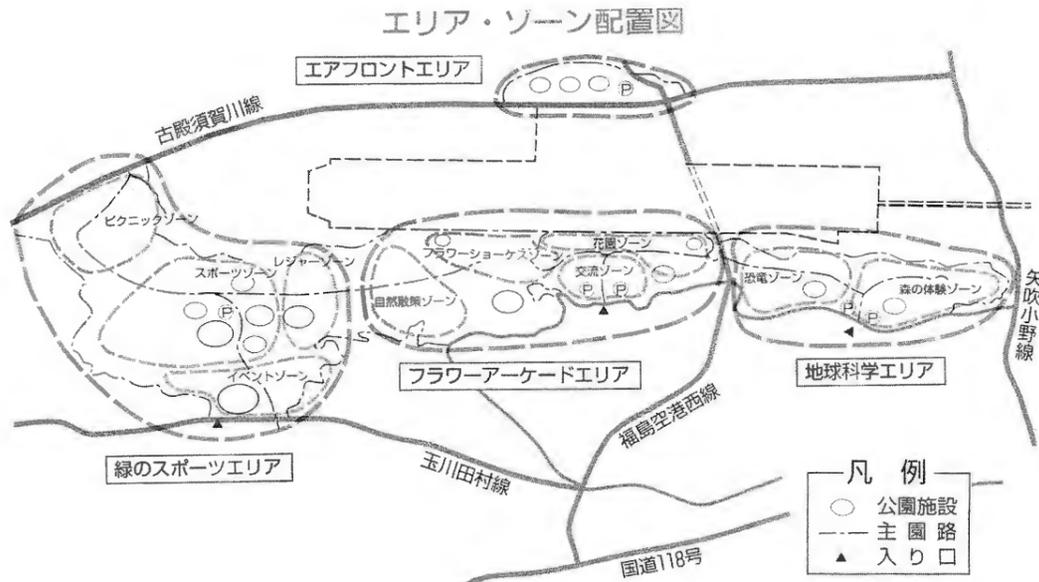
空港公園は約三百三十畝

- ◆ 山林・原野 一千六百六六円
- ◆ 雑種地 一千六百六六円
- ◆ 田 1級 四千六百六十四円
2級 四千五百二十一円
- ◆ 畑 1級 三千四百九十八円
2級 三千三百五十五円

土地の買収価格は、一平方メートル当たり十八畝と二千五百坪滑走路の未買収地〇・七畝です。

補償協定の概要

今回、協定が結ばれたのは空港公園用地約二百十八畝と二千五百坪滑走路の未買収地〇・七畝です。



福島空港 補償協定書調印式



協定書に署名する佐藤知事(右)、藤田会長(中央)、車田村長(左)

地権者会と県が補償協定

藤田地権者会長と役員が出席

福島空港、福島空港公園等整備に伴う損失補償に関する協定書調印式が、2月27日(木)午前9時から須賀川市の翠光苑で行われました。福島空港の滑走路長三千メートル級化に対応するための公園用地等買収用地に係る補償協定であり、玉川村と須賀川市の地権者会の役員約50名、県側から佐藤知事や関係職員、立会人として車田村長と相楽須賀川市長が出席しました。

知事とガッツリ握手

菅野保孝県空港建設事務所長から協定妥結に至るまでの経過が説明されたあと、補償協定書への調印が行われました。5通の協定書に玉川村地権者会の藤田会長、須賀川市地権者会の榎村会長、佐藤知事、車田玉川村長、相楽須賀川市長がそれぞれ署名をしました。署名後、佐藤知事と両地権者会長がガッツリと握手を交わしました。佐藤知事が「本日、補償協定書に調印できましたことは喜びに堪えません。地権者と地元の皆様の深いご理解とご協力の賜であり、今後は生活改善対策に万全を期して取り組んでいきます。また、アクセス道路の整備も進めて福島空港がうつくしい福島の創造の役割を果たせるよう今後ともご協力をお願いします。」と述べました。続いて、地権者を代表して須賀川市地権者会の榎村会長、相楽須賀川市長、車田玉川村長があいさつをしました。



玉川村地権者会役員にお礼を述べる佐藤知事

用地の概要

- ◆ 面積
 - 空港用地 約〇・七畝
 - 公園用地 約二一八畝
- ◆ 地権者数
 - 玉川村 一九〇人
 - 須賀川市 一三八人
- ◆ 用地取得予定事業年度
 - 平成9～10年

春は、すぐそこまで来ている。大きなランドセルを背負ったピカピカの一年生が、入学式をむかえる季節です。今年の入学児童は、昨年より10人少ない88人です。名前がもれたり、まちがっている場合には村教育委員会までご連絡をお願いします。

川辺小学校 14人

児童氏名 保護者名

鈴木 丈進 正昭
須藤 拓也 昭彦
安藤 祐希 文彦
須藤 祐希 文彦
鈴木 達朗 和浩
熊田 修也 哲也
矢部 浩司 丈徳
向井 寛晶 孝徳
高橋 友美 兼友
深谷 千恵 節夫
圓谷 奈津実 善孝
大竹 栄多 多美
高瀬 早央里 明隆
吉田 瑞穂 隆美

玉川第一小学校 35人

児童氏名 保護者名

西島 裕太 信一

小針卓也 きみえ
矢吹拓実 啓策
佐久間慶介 昌徳
湯澤圭介 徳雄
榊枝駿 千恵子
草野祐樹 一美
駒木尚人 涉美
鈴木将太 正人
小林裕也 典夫

小田信洋 信彦
小林佳洋 雅之
車田ちか子 昭司
曾根原舞 美輝
大竹紀子 正洋
割田菜月 明徳
小田明枝 周吉
小針舞 佐知子 三郎

須釜小学校 34人

児童氏名 保護者名

眞野目雄樹 眞衛
塩澤祐成 勇雄
草野幸弘 清憲
草野悦弘 光弘
有賀大晃 貞亥

平成9年度 新入学児童 は 88人です



四辻分校 5人

児童氏名 保護者名

須田和輝 一孝
須田達仁 潤一
関根力也 宏
大和田里香 宏

(9・3・1現在・敬称略)

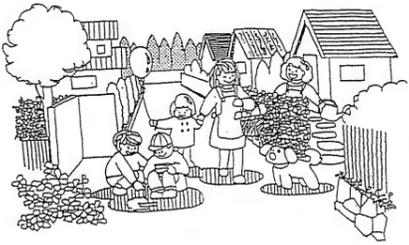
シリーズ 都市計画 ①

玉川村では、福島空港やトライアングルハイウェイなどの高速交通体系の整備で、今後活発な開発が予想されます。そこで土地利用の適切な制限のもと、無秩序な市街地や乱開発を防止し、豊かで安心できる生活環境の整備と秩序ある都市空間が形成された村づくりが必要とされています。今回は、これより4回にわたってシリーズで都市計画について考えてみたいと思います。

村づくりと都市計画は

平成5年2月に県知事から諮問を受けた県都市計画地方審議会が検討を進めたところ郡山を中心とする県中地域圏は、福島空港及び高規格道路と結びついた一体的都市づくりを進めることと、また、空港開港を契機として新たな波及効果が期待される石川地方においては、現在、都市計画区域の指定がされていない玉川村と平田村、さらに石川町東部と浅川町を含めて拡大を図る石川都市計画区域にすべきであると知事に答申しました。これを受けて、村は高速交通時代の進展にマッチした良好な環境とゆとりある都市空

まちづくりは みちづくりから



間を生かした新しい村づくりを推進するため、県や関係町村と協議、調整を図りながら都市計画の指定に向けて準備を進めています。

総代11名が

無投票当選

母畑地区土地改良区総代総選挙の第3選挙区(仁井田保雄選挙長)の選挙は、2月12日と13日の2日間に立候補届出の受付を行いました。立候補の届出のあった数が定数の11人を超えなかったことから無投票となりました。

2月19日午前9時から役場北庁舎会議室において選挙会が行われ、立候補届出のあった者が全て被選挙権を有するものであることを選挙立会人のもと確認され、候補者全員の当選が決定されました。

なお、当選者は次のとおりです。

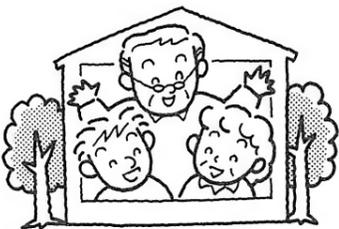
母畑地区土地改良区総代総選挙

氏名	年齢	地区
眞弓泰行	45	蒜生
飯島三郎	50	南須釜
近内清夫	63	吉
森越清重	61	岩法寺
村谷忠重	58	南須釜
圓谷義晴	54	竜崎
橋本義治	58	竜崎
小林仙治	54	川辺
大竹要介	58	川辺
小針政蔵	58	北須釜
小枝義二	52	北須釜

(届出順・敬称略)

農業委員 選挙人名簿を調整

村選挙管理委員会は、2月18日(火)の委員会で玉川村農業委員会委員選挙人名簿の調整を行いました。なお、調整された名簿は、縦覧のうえ3月31日に決定され、来年の3月30日まで据え置かれることになります。



項目 投票区	世帯数	有権者		
		男	女	計
川辺	146	247	235	482
小高	236	343	308	651
岩法寺	71	117	121	238
竜崎	111	187	189	376
須釜	244	359	371	730
吉	79	127	108	235
山小屋	67	113	118	231
四辻	83	136	119	255
計	1,037	1,629	1,569	3,198

平成8年度 玉川村体育協会表彰式

優秀選手・団体を表彰

村体育協会(会長・渡辺助次郎)では、2月28日(金)午後7時から村就業改善センター2階農研室において、平成8年度中にスポーツで優秀な成績をおさめた個人5名と2団体に表彰状と楯を授与して功績を讃えました。

表彰された個人・団体は次のとおりです。

推薦種別	氏名・団体名	住所	保護者・代表者名	主な成績
1 優秀選手賞	玉川第一小学校	—	校長 水野岩雄	石川地区小体連陸上競技大会 ベスト男子400mリレー決勝1位
2 優秀選手賞	小針和章	中	小針一郎	石川地区小体連陸上競技大会 6年男子100m決勝1位
3 優秀選手賞	溝井伸也	小高	溝井松雄	石川支部中体連陸上大会100m1位 (大会タイ記録)県中体連陸上大会3位
4 優秀選手賞	小針拓史	川辺	小針善栄	石川剣道連盟大会小学6年生の部個人優勝
5 優秀選手賞	佐藤友哉	小高	佐藤恒夫	石川剣道連盟大会小学5年生の部個人優勝
6 優秀選手賞	小針匠	中	小針保之	石川剣道連盟大会及び平田村剣道大会小学4年生以下の部個人優勝
7 優秀選手賞	玉川少年剣友会	—	代表 小針周吉	石川剣道連盟大会及び平田村剣道大会団体優勝



▲受賞した選手と関係者



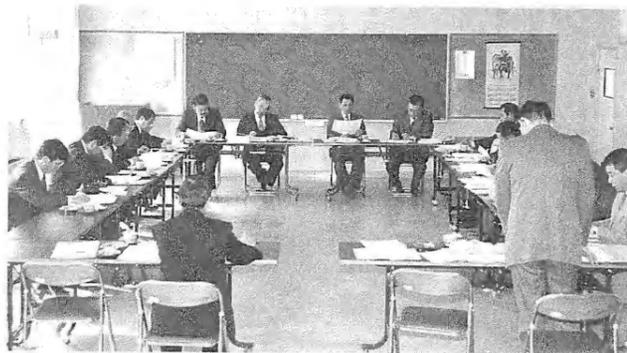
渡辺会長から表彰状を受ける溝井伸也君(泉中)▶

全国玉川町村交流

玉川村 産建委員が来村

商工業状況を研修

埼玉県玉川村議会の産業建設常任委員会の委員5名と村職員2名が本村の商工業状況の研修のため、2月4日(火)に来村。午後1時30分から村就業改善センター2階の農研室で研修会が行われました。研修会では、まず本村議会の高林議長、矢部産業建設常任委員長からそれぞれあいさつのあと、出席者全員より自己紹介がされました。



商工業振興が課題

研修は、まず本村の商工業について村企画財政課の丹内商工観光係長から商工業の現状を説明。続いて車田村商工会事務局長から本村の商工業の現況等について細かな説明が行われたあと、質疑応答が活発に行われました。出席された埼玉県玉川村の委員さんたちは、「この研修で得たことを今後の村商工業振興に役立てたい」と話していました。

よい歯のコンクール表彰

平成8年度第4回「よい歯のコンクール」の表彰式が1月24日に村保健センターで行われました。3歳児健康審査の歯科審査で虫歯の無かった子供9名が表彰されました。(敬称略)

()内は地区と保護者



小針桂輔 (中・良直) 吉田聖 (小高・浩則) 矢吹知恵子 (藤生・隆) 矢吹綾香 (川辺・賢治)

溝井佑太郎 (四辻新田・利一) 車田知穂 (竜崎・武実) 白川里実 (岩法寺・泰央) 渡辺佳奈 (岩法寺・貴光) 奥野祐也 (岩法寺・恵)

スキーは、楽しいネ!!

平成8年度 スキー教室

警梯国際スキー場

スキーを通じて村民相互の親睦を密にすることを目的とした平成8年度のスキー教室は、玉川スキークラブと村公民館の主催により2月2日(日)猪苗代町の警梯国際スキー場で行われました。教室には、村内の小学生など家族連れ50名が参加して午前6時30分役割前を大型バスで出発。晴天に恵まれたゲレンデで、カラフルなスキーウェアに身を包んだ参加者は、準備運動をしたあと実技講習を受けました。講師は玉川スキークラブ員10名が担当し、受講生は基本動作など熱心に指導を受けていました。



カラフルなスキーウェアに身を包む参加者



練習中の参加者

子どもたちは上達がはやい

実技講習は、午前中に2時間と午後1時間30分行われました。子どもたちは、スキークラブ員の指導を受けると直ぐに滑れるようになりました。スキークラブ員も「子どもたちは、上達が早いですね。何でも子どものうちに始めることがいいですね。」と話していました。



福島空港に到着したクニオ・ナカムラ大統領(中央)

パラオ共和国大統領 空港 クニオ・ナカムラ氏が来県

南太平洋のパラオ共和国の大統領クニオ・ナカムラ氏(53)が中日本エアラインのフォッカー150で午後1時に福島空港に到着しました。到着後、有料待合室で空港関係者等の歓迎を受けました。大統領は、これまでに7度、日本を訪れており(いずれも非公式訪問)、今回もプライベートの観光旅行で来日しました。ナカムラ大統領は、日系2世(父親が日本人でハワイ大学を卒業。パラオ高校の教師のち、パラオ上院議員、副大統領を経て1993年1月に大統領に就任しています)。

第2回文化講演会 講師に一龍斎貞花氏 須釜公民館に200人

平成8年度第2回玉川村文化講演会は、第1回に引き続き、講師の五代目一龍斎貞花氏を講師に招いて午後1時から須釜公民館で開かれました。

『歴史を彩った人々の長寿とくらし』と題して、歴史上の人物を引き合いに長生きのコツや暮らしの知恵を話されました。ユーモアたっぷりの口調に、高齢者を中心に200人の聴講者で満員の会場は、笑いの渦と化していました。

なお、貞花師匠は、前回に続いて社会福祉資金として村社会福祉協議会に寄付金を贈りました。



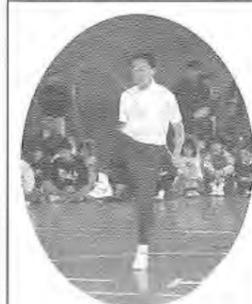
手振りを入れて熱弁の貞花師匠

インディアアカで 心地よい汗

村公民館のインディアアカ教室は、村民体育館で行われました。インディアアカは南米で生まれたスポーツで、バレーボールとバドミントンを併せたような競技です。講師からルールの説明を受けたあと、試合形式で基礎技術を学びました。同教室は、玉川勤労者体育センターでも行われ参加者は心地よい汗を流していました。



試合形式で練習する参加者



斎藤仁さんの華麗なる技



小学生の部の競技の様子

トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—
役場総務課広報広聴係まで

縄跳びで地域の輪

青少年育成
村民会議
南須釜地区推進協

玉川村青少年育成村民会議南須釜地区推進協議会(榊枝暉夫会長)主催の第11回縄跳び大会は、午前9時から玉川勤労者体育センターで開かれました。大会には、村内の小学生を中心に約300名が参加して行われました。

縄跳び大会の前に、全日本なわとびチャンピオンの斎藤 仁氏(いわき市)を講師に縄跳びの跳び方などの基本的な動作や連続跳びなどの講習会が行われました。

総合Vに小林 誠君(玉一小6年)

大会は、幼稚園の部、小学生の部、中学生の部、高校生以上の部にそれぞれ分かれて競技が行われました。総合の部では、小林 誠君(竜崎)が、二五六一回で見事優勝しました。

(敬称略)

- ◆児童・生徒の部
- ▽幼稚園 小針望美
- ▽小学1年 真弓翔太
- ▽小学2年 塩澤結花
- ▽小学3年 須藤光輝
- ▽小学4年 塩澤 宏
- ▽小学5年 鈴木 将
- ▽小学6年 小林 誠
- ▽中学1年 大越里美
- ◆高校生以上の部
- ▽25歳以下 有賀富士子
- ▽39歳以下 塩澤 和彦
- ▽49歳以下 増子 清一
- ▽50歳以上 小原 嗣男
- ◆総合の部
- 優勝 小林 誠(二五六一回)
- 2位 塩澤 宏(二五四四回)
- 3位 鈴木 将(二五八四回)

がらくた市の収益金 村社会福祉協議会へ寄付 福島空港テナント会

福島空港ビル内で営業している業者でつくる組織「福島空港テナント会」では、さきに行われた空港感謝祭「がらくた市」の収益金の一部12万円を村社会福祉協議会に寄付。遠藤一感謝祭実行委員長、笹沼茂夫テナント会会長(福島エアポートサービス店長)らテナント会の役員が村役場を訪れ「福祉活動にお役立てください」と村社会福祉協議会長の車田村長に手渡しました。



テナント会役員から寄付を受ける車田社会福祉協議会長



すがま幼稚園 ひなまつりの会

桃の節句のこの日にすがま幼稚園(伊藤政憲園長・園児64名)では、ひなまつりの会が行われました。自分たちが造ったそれぞれの雛人形をステージに飾りつけ、その前に園児がお雛様、お内裏様などに扮してポーズ。この役目は、さきに行われたイス取りゲームで勝ち残った園児が担当。終わりに全員で手作りのクレープのおやつを食べてひなまつりのお祝いをしました。

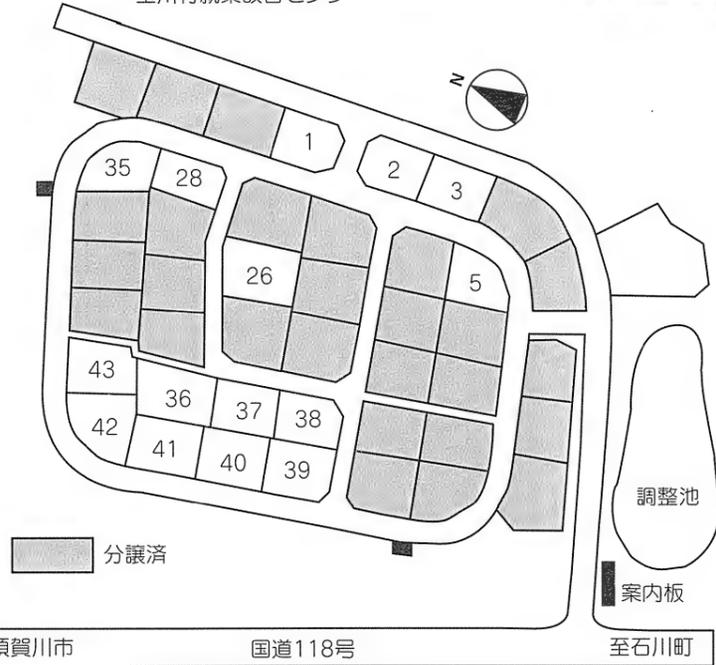


赤坂団地のようす

平成9年度 赤坂団地分譲

福島県住宅供給公社では、平成9年度の募集を次のとおり実施いたします。

- ◇募集戸数 宅地分譲15区画
- ◇申込受付期間 平成9年4月18日(金)から4月23日(水)まで
- ◇受付場所・時間 玉川村役場企画財政課 ☎0247(57)4629 午前10時～午後4時 (土・日は休み)
- ◇抽選日時・場所 平成9年4月25日(金) 午前10時 玉川村就業改善センター



号地	面積		金額(円)
	m ²	坪	
1	283.18	85.66	9,549,000
2	302.84	91.60	9,235,000
3	308.26	93.24	9,400,000
5	308.88	93.43	9,872,000
26	375.98	113.73	10,142,000
28	298.63	90.33	9,632,000
35	304.44	92.09	8,927,000
36	349.69	105.78	9,843,000
37	285.32	86.30	8,282,000
38	275.85	83.44	8,897,000
39	287.63	87.00	9,193,000
40	304.85	92.21	8,760,000
41	304.25	92.03	8,743,000
42	326.82	98.86	9,487,000
43	307.04	92.87	9,003,000

自動車税はお早めに

納期限は6月2日

自動車税は、毎年4月1日現在に自動車所有している(陸運局に登録している)方に対して、5月31日を納期限として課税されます。(今年は、5月31日と6月1日が土曜日と日曜日になっているため、6月2日が納期限になります。)

納税通知書は、5月中旬に送付されますので、早めに納めましょう。

なお、身体障害者や精神障害者の方が利用する自動車で、一定の要件に該当する場合に自動車税が減免される制度があります。該当する方は、次の書類を添えて、5月26日までに申請してください。

- 1 自動車税減免申請書
- 2 身体障害者手帳、戦傷病者手帳又は療育手帳
- 3 運転する方の運転免許証
- 4 自動車検査証(車検証)
- 5 家族の方が運転する場合には、身体障害者等のために運転する旨の証明書
- 6 納税義務者(障害者等)の印鑑



第49回「婦人週間」

★期間 平成9年4月10日～16日

★テーマ 21世紀に向けて自分らしい生き方ができる社会を創ろう

★キャッチフレーズ 未来へのアクセス パスワードは「個性」

第49回「婦人週間」は、男女双方が理解し、協力しあい、共に自分らしい生き方を実現できる社会を築いていくために努力することを目指して実施します。

〈労働省福島婦人少年室〉

福島県からのお知らせ

保健所業務が市町村へ委譲

本年4月から、妊産婦・乳児健診、3歳児健診、一般的な栄養指導など母子保健、栄養改善事業の一部について、実施主体が県(保健所)から市町村へ移ります。

これは、地域保健の枠組みが抜本的に改正され、国、都道府県、市町村がそれぞれにふさわしい役割を分担することとされたことによるもので、このことにより、市町村は住民に身近で利用頻度の高いサービスを、県(保健所)はその所管区域を再編のうえ、広域的、専門的、技術的な業務をそれぞれ担うこととなります。県民の皆様のご理解をお願いいたします。



みんなおいでヨー!

春の空港まつり



昨年の空港まつりの「GOGOドロー」から

- 日時 3月30日(日) 午前9時～午後5時
- 場所 福島空港ターミナルビル内外
- 主催 福島空港開港4周年記念春の空港まつり実行委員会

■主なイベント

- ☆大空から確かめよう 中日本エアラインのフオッカー50で遊覧飛行 (百名)
 - ☆ショータイム
 - ・ウルトラマンショー
 - ・エアロビクスショー
 - ・フォークショー
 - ☆ペットボトルロケット競技会
 - ☆ミニ四駆競技会
 - ☆ストリートバスケット大会
 - ☆飲食コーナー
 - ☆物販コーナー
 - ☆飛行場周回バスの運行
 - ☆展望デッキの無料開放
 - ☆GOGOドロー
- その他楽しさ盛り沢山だよ、30日は家族揃って福島空港へ。

愛の献血をありがとう

1月22日の献血者は、次の28人でした。あなたの愛に感謝いたします。(敬称略)

◆中根精工(株)(12人)

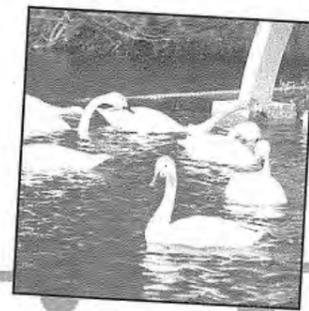
- 石井重一 石井康広
- 大川内忠雄 沖田伸夫
- 小原ミヤ子 小原幸春
- 関根恵津 添田安夫
- 藤田二三男 真野目孝義
- 吉田徳次 渡辺さなえ

◆玉川村役場(16人)

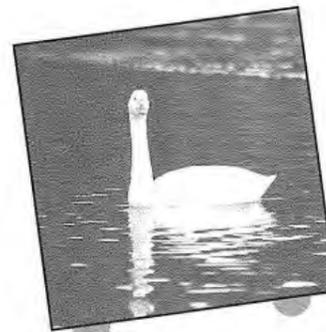
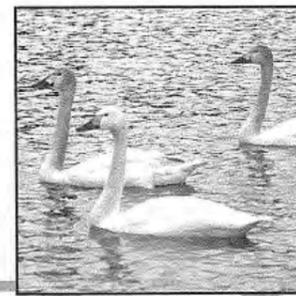
- 石井春美(村役場) 岩
- 石井春美(村役場) 岩
- 谷勝雄 小針武彦
- 小針達夫 小針敏子
- 塩澤理博 塩田 敦
- 塩田 敬 圓谷さとみ
- 永林しのぶ 野崎敦子
- 野崎智之 増子広行
- 谷地幸子 矢部玄幸



春の全国交通安全運動は、4月6日(日)～15日(火)までの10日間です。



中村池で羽を休める白鳥



事業主の皆さんへ

労働保険の年度更新

5月20日(火)までに

平成9年度の労働保険の年度更新をする時期がまいにりました。4月初めに福島労働基準局または福島県雇用保険課から送付される申告書と記入要領をよくお読みいただいて5月20日までに最寄りの金融機関、郵便局、労働基準監督署、福島労働基準局または福島県雇用保険課において手続きされますようお願いいたします。なお、4月1日より申告期限等は次表のとおり改定になりました。

改定事項	改定内容
申告期限	5月15日が5月20日に
延納できる保険料額	18万円が40万円に (労災保険または雇用保険のどちらか一方の場合は、9万円が20万円に)

NTTからのお知らせ
電話の移転はお早めに



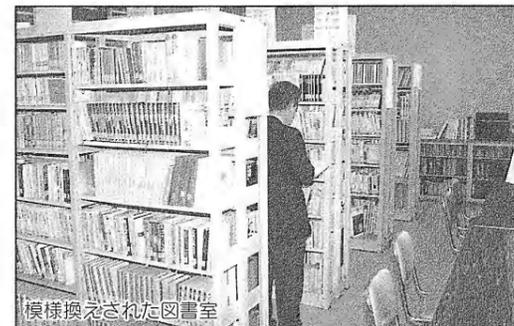
3月から4月は人事異動その他住居の移転が多く窓口が大変混み合います。異動が決まったら、直ちに同番なしの「116番」での手続きをお済ませ下さい。116番が混み合うときは、お手数でも最寄りのNTT窓口へ足をお運び下さい。◆電話料金は便利な口座振替をお勧めいたします。また、請求書をご持参いただければ、「コンビニエンスストア」でも24時間取り扱っております。



固定資産課税台帳の縦覧

平成9年度固定資産課税台帳の縦覧を次のとおり行います。なお、縦覧のできる方は、本人か委任状をお持ちの方に限ります。
◆期間 4月1日(火)～21日(月) (土・日は除く)
◆時間 午前8時30分～午後5時
◆場所 玉川村役場税務課

図書室リニューアル
センター2階 室内を一変



新書のご要望を
自分が読みたい本がありましたら、公民館に要望してください。
返し忘れの本がありませんか
図書室から借りている本を返し忘れていたものがありますか。気づいたら速やかに図書室に戻して下さい。

伝言板



玉川村役場への電話は昨年5月から各課と直接通話ができるダイヤルインになっています。ご用件のある場合は、ダイヤルインをご利用ください。

総務課 (57)4621	農業委員会 (57)4628
税務課 (57)4622	企画財政課 (57)4629
保健課 (57)4623	議会事務局 (57)4630
住民課 (57)4624	水道課 (57)4631
会計室 (57)4625	公民館 (57)4632
建設課 (57)4626	教育委員会 (57)4633
農政課 (57)4627	管理人室 (57)3449

(役場総務課より)

4月の健康ごよみ

11日(金) 献血	場所 トステム福島(株) 福島富士(株) 玉川村役場
3～4ヶ月児健診	午後1時～1時30分
17日(木) ポリオ予防接種	午後1時～1時30分
21日(月) 機能訓練	午前10時～午後3時
23日(水) ポリオ予防接種	午後1時～1時15分
24日(木) 3才児健診	午後1時～1時30分

保:保健センター 須:須釜公民館
受:受付時間

寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

山小屋の石森四郎一さんから	2万円
岩法寺の佐久間勇さんから	1万円
川辺の矢部義一さんから	3万円
吉の大和田勝利さんから	3万円
北須釜の矢吹昭一さんから	2万円
川辺の野崎久夫さんから	3万円
中の小針平真さんから	2万円
福島空港テナント会から福祉活動資金として	12万円
一龍齋貞花師匠から福祉活動資金として	2万円
第5回チャリティ須釜芸能の集い実行委員会より	2万円

(村社会福祉協議会)

歌愁短歌会玉川支部詠草集

出発の鐘に合せて駆けて下りの列車に飛び乗る少女
横文字に老眼鏡を押さえつつ脳の引き出しあらこち捜す
悔いもあれど生の証を残せるよう、そんな女に私もなりた
去りし人に心はいたむ仰ぎ見る月煌々と冴ゆるばかりに
白菊を活けし仏間の窓縁れば取り残されし風鈴の音
暴風の画面見る度思い出す艇、荒天に苦しみし日日
日だまりに咲き出でており福寿草の黄は早春の譜を歌い
春雪は半日の日に消え去りて杉のこずえも姿勢をなおす
明鳥の鳴き渡りゆく阿武隈の川岸を照らす上弦の月

村公民館

お誕生おめでとうございます

地区	出生児氏名	保護者名
中	大木 堯彦	和彦
中	永瀬 雄一	順一
岩法寺	石森 みずき	浩
中	大竹 奈々江	正照
竜崎	鈴木 由季子	誠
中	鈴木 功典	誠
南須釜	鈴木 緑川	和彦

おくやみ申し上げます

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
川	矢部 リツ	88	義一
中	野崎 ツジ	95	久夫
中	小針 英勇	69	ハナ子
岩法寺	佐久間 アキ	78	勇一
北須釜	矢吹 スイ	76	昭一
吉	大和田 イ	80	勝利
山小屋	石森 マス子	61	四郎一

村のようす

(9年3月1日現在)

戸数	1,728戸(-3)
人口	7,637人(-1)
出生	3,739人(+2)
死亡	3,898人(-3)

今月の納税

国民年金保険料 3月分

【納期限は3月17日(月)です。忘れずに納めましょう。】

小針みね子	小針 愛子
諏訪イセ子	吉田 英祐
溝井はなよ	小針 守次
真弓 はん	吉田 サヨ
小針 登里	

泉・須釜両中学校創立50周年記念特集 恩師を訪ねて (終)

―勤務時期と担当教科を教えてください。

「昭和42年から45年3月までです。教科は音楽でした。教員数の関係で英語も担当しましたが、免外教科で十分な指導ができなくて大変苦勞しました。」

―生徒の印象はどうでしたか。

「新任教師でしたので友達のような気分が生徒たちの中にいつもいました。わからない土地の言葉を教えてくれたり、昼休みにドッジボールで遊んだり、目を輝かせたやさしい素直な子供らしい生徒ばかりだったように覚えています」



次男の高校卒業武のごさ(右が私)

いわき市植田町出身。茨城大学卒。須釜中学校に新任教師として赴任。3年間の教員生活の後、結婚により退職。教員生活が須釜中学校だけだったことから印象的であり「須釜中での教師生活がその後の大きな力となって支えられました」とも。趣味はフラワーアレンジメント。家族は夫、実母、3人の子供。神奈川県大和市在住。

印象的なことは？

「当時、階の部屋を借りていた小山田さん宅の階下で蚕を飼っていたり、タバコの葉が庭先に干してあったりして、身近に須釜の生産物を手伝う子供達や働き者の御父兄達の姿に触れることができたことが印象的でした。」

―現在の玉川村の現況をどのように思われますか。

「空港のニュースを聞いた時はびっくりしました。当時から想像もつきませんでした。新しい中学校ができ、車で訪ねました時、成る程、すごい、当然かもと玉川村の発展に驚き、うなずきました」

おほしひと美先生 (旧姓 宮尾)



表(おもて)と呼ばれている我妻勝雄さん宅

シリーズ「たまかわの俗地名」

『下上』等の由来(山小屋)

昔の庄屋である我妻勝雄さん宅は俗に表(おもて)と呼ばれており、ここを中心として、その方向などでいろいろな俗称がついています。庄屋様宅の裏の石森栄吉さん宅を「後(うしろ)」、下ににある石森正男さん宅を「下上(したじょう)」、石森藤男さん宅と我妻利夫さん宅は庄屋様の屋敷の外に出ていたので「外出(そとで)」と呼ばれています。また、私の家と石森富

夫さん宅は、庄屋様宅から外の方角に位置することから「外方(そとかた)」と呼ばれています。

余談ですが私は戸籍上は「コト」という名前ですが、「久子」でないといけない人がほとんどです。「久子」で役所に届けたのが手違いから「コト」になってしまったのです。私も俗称じゃないですが、通称で呼ばれるのが多いです。(石森久子)

東京玉川会コーナー

心に残る 我がふるさと

『でかくなった故郷』

東京都品川区 有賀 五郎さん

(南須釜出身・有賀隆幸さんの叔父)



松山城をバックに孫のような歳の息子と

「ここは70だっぺ」平成8年8月、磐越道を走行中、歩道橋にかけた制限速度を知らせる横断幕に書かれたものでした。私は反射的にブレーキペダルをちよつとだけ踏み、まだ実直なんだと自己評価、若返った気分でありました。開発と自然の調和は、今後大きな課題なのでしょうが、素晴らしい道路が出来、お陰でふるさと福島を快適にドライブしながら、少年の頃に思いつかなかつた風景を楽しみ複雑な気分を6日間のふるさと観光でした。

その2ヶ月前の6月2日、私は東京玉川会に入会、初めて総会に出席しました。会の趣旨、活動内容も知らないで参加しましたが、会の執行役員、村長、役場の職員、会員の皆さんから、村の福祉、農業の活性を促進する「ふるさと玉川」を思う心意気を感じ、自分はふるさと不孝者と思ひ知りました。立派なものなど何も無い村で生まれ育つたと若い頃思つて居りましたが、「されど故郷」を実感させて頂きました。40余年前、15歳の少年の行動範囲はほんの少しでした。ふるさとをもっと識りたい、観たい、そんな今日の頃です。ちよつと脱線しますが、生徒の頃、教えを受けた先輩や先生の恩に感謝をし、しみじみと讃え歌う「仰げば尊し」の詩を、玉川村と一体のふるさとと大切にしながら、もうすぐ還暦となります。